

レビー小体型認知症の  
当事者による

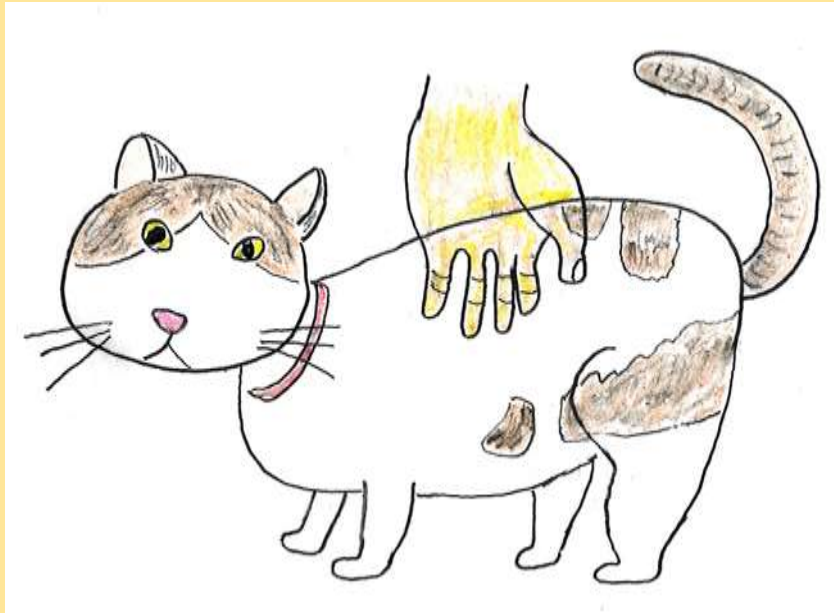
三橋 昭

入場無料

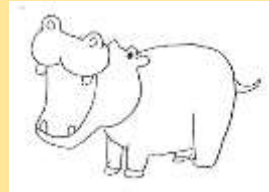
# 幻視原画展



カードゲーム



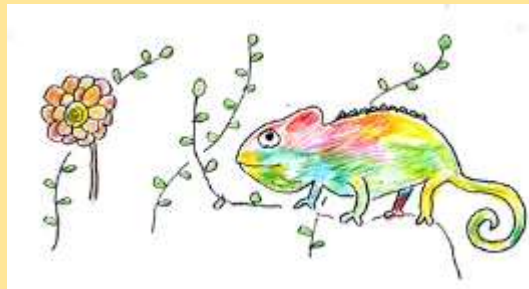
たまちゃんとすり抜ける手



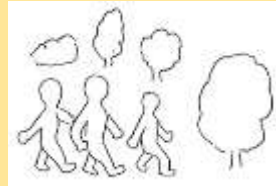
あくびをするカバ



ジョギングする山羊



カメレオン



公園を歩く人々

【とき】 2022年 11月 18日 (金) 19日 (土) 20日 (日)

【時間】 10:00~17:00

【会場】 ギャラリー南製作所  
144-0034 大田区西糀谷2-22-2  
tel:03-3742-0519  
weblog: <https://2222gmf.blogspot.com>

【主催・問合せ】  
大田区地域包括支援センター糀谷  
☎ 03 (3741) 8861



## 幻視原画展 とは？



## レビー小体型認知症と診断された三橋昭さん

レビー小体型認知症は、幻視が見えるのが特徴の病気。

『最初は「見なかったことに」したいと思った「幻視」でしたが、「レビー小体型認知症」と診断されてから、どうせ離れられない二人旅、と覚悟を決めました。ほぼ毎朝見る幻視をイラストにして添え書きを書いた日記をつけています。見える幻視は、目を開けてからまばたきをするまでのほんの2～3秒。それを記憶に止め、あとでイラストにしています。』

(『マガジンエイト』より抜粋)



### 三橋昭さん (プロフィール)

1949年生まれ。中学生のときから映画に魅了され、高校卒業後は助監督になる。その後、会社員、自営業を経て、区立図書館の館長(指定管理者制度)を務めているときに、レビー小体型認知症と診断される(2019年)、ほぼ毎日見る幻視をイラストにして文章を添えた日記を書き続けている。「幻視原画展」は平塚市立美術館他各地で開催している。



①認知症サポート医による講座

②ご本人トーク

11月18日(金)

①13時から 認知症講座

ナグモ医院(認知症サポート医)

南雲 晃彦 先生

②13時半頃 ご本人トーク

三橋 昭さん

## 認知症になっても 安心して暮らせる街づくり

大田区地域包括支援センター糎谷では、認知症に対する理解を深める啓発活動に力をいれています。

今回の『幻視原画展』を開催することで、認知症の方やそのご家族が安心して暮らせる街づくりの一助になるよう取り組んでいます。

